

第七十四回
帝國議會
貴族院

輕金屬製造事業法案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

輕金屬製造事業法案

帝國鑛業開發株式會社法案

委員氏名

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 眞野 文二君

公爵桂 廣太郎君
侯爵山内 豐景君
子爵井上匡四郎君
子爵大河内正敏君
子爵保科 正昭君
男爵伊藤 一郎君
男爵松田 正之君
男爵肝付 兼英君
加藤敬三郎君
長岡隆一郎君
根津嘉一郎君
磯貝 浩君
松本勝太郎君
小野 耕一君
大西虎之介君
氏家 清吉君

昭和十四年三月十八日(土曜日)午前十時

十八分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ只今カラ本委員會ニ付託セラレマシタ帝國鑛業開發株式會社法案及輕金屬製造事業法案ニ付キマシテ會議ヲ開キマス、先ヅ政府ノ御說明ヲ乞ヒマス

○政府委員(今井健彦君) 大臣ニ差支ガアリマシテ、私代ッテ兩法案ノ御說明ヲ申上ゲタイト存ジマス、先ヅ帝國鑛業開發株式會社法案ノ提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、帝國鑛業開發株式會社法案ノ立案ノ根本趣旨ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ之ヲ申述ベテ置キマシタカラ、茲ニハ同法案ノ内容ニ付テ其ノ大綱ヲ御說明申上ゲ、提案ノ理由ヲ明カニ致シタイト存ジマス、我が國現下ノ時局ニ於キマシテ、銅、鉛、亜鉛、錫、「ニッケル」等ヲ初メトスル一連ノ所謂非鐵金屬ガ國防經濟ノ運用上特別ノ重要性ヲ有シテ居リマスルコト、竝ニ我が國ニ於ケル是等重要鑛物ノ需給狀態ハ、其ノ需要額ガ飛躍ナル増加ヲ示シツ、アリマスルニモ拘ラズ、國內生産額ハ之ヲ充足スルコト能ハズシテ、遺憾ナガラ相當多額

ノ數量ヲ海外ニ依存スルノ已ムナキ實情ニ在リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、之ガ爲メ政府ニ於キマシテハ、是等ノ重要鑛物ニ付キマシテ、生産力擴充ノ計畫ヲ樹立致シマスルト共ニ、之ガ目的達成ノ方策トシテ、前議會ノ御協賛ヲ經マシテ、重要鑛物増産法ヲ制定施行致シマシタルヲ初メトシ、探鑛獎勵金ノ交付制度、其ノ他増産促進ニ關スル種々ノ施設ヲ講ジテ、銳意目的ノ達成ニ努力致シツ、アル次第デアリマス、併シナガラ何分ニモ其ノ増産ハ、劃期的ナル數字ヲ目標ト致シテ居リマスルノデ、之ヲ實現致シマスル爲ニハ更ニ増産促進ノ方策ヲ強化致シマシテ、國內鑛物資源ノ積極的開發ヲ圖リ所謂休眠鑛區ノ動員、低品位鑛石ノ活用等ニ官民協力シテ邁進致サネバナラスト存ズルノデアリマス、即チ帝國鑛業開發株式會社法案ハ、是等不足重要鑛物ノ増産達成ノ爲ニ所謂休眠鑛區ノ開發、低品位鑛石ノ利用ヲ圖リマスルト共ニ、鑛山開發ノ基礎トナルベキ探鑛試錐等ノ鑛床調査ニ關スル事項、或ハ増産資金ノ融通等ヲ初メトシテ、重要鑛物資源ノ開發ヲ圖リ、其ノ

増産ヲ達成スル上ニ必要ナル諸事業ノ經營ヲ目的トスル帝國鑛業開發株式會社ヲ設立セシメマシテ、本會社ニ對シ政府ノ特別ナル保護助成ヲ與フルト共ニ、十分ナル指導監督ヲ加フルコトヲ骨子トシテ立案シタモノデアリマス、即チ本法律案ニ於キマシテハ、第一ニ本會社ノ事業ガ時局ニ即應シテ、短期間ニ重要鑛物ノ急激ナル増産ヲ確保スルト云フ國家的要求ニ基クモノデアリマスルガ故ニ、國家トシテ資金のニモ關與スルコトガ必要デアルト認め、政府ハ本會社ニ對シ資本金三千萬圓ノ中一千五百萬圓ヲ出資致シマシテ、半官半民ノ特殊會社ト爲スト共ニ、本會社ノ特殊性ニ鑑ミ、其ノ株主タル資格ヲ制限致シタノデアリマス、第二ニハ社債ノ募集ニ付キ商法ノ特例ヲ設ケテ、其ノ發行限度ヲ拂込株金額ノ五倍ニ迄擴張致シマシタルト同時ニ、社債ノ元利ノ支拂ニ付テモ、政府ニ於テ之ヲ保證シ得ルコトトシ、以テ資金調達ヲ容易ナラシムルト同時ニ、社債權者ヲ保護スルコトト致シタノデアリマス、第三ニハ民間出資ニ對スル利益配當ノ確保デアリマシテ、本會社ガ相當ノ

利益ヲ舉グル迄ハ政府所有株式ヲ後配株トシ、民間出資ヲ優遇スルト共ニ、本會社ノ配當シ得ベキ利益金額ガ、民間出資ニ對シ一定ノ割合ニ達スル迄ハ、一定金額ノ範圍内ニ於テ、其ノ不足額ヲ補給シ、以テ民間出資ニ對スル利益配當ヲ確實ナラシメタノデアリマス、第四ニハ政府ハ本會社ニ對シ重要礦物ノ増産上必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ因ツテ生ジタル損失ハ必要ニ依リ國家ガ之ヲ補償スルコトト致シタノデアリマス、第五ニハ一定ノ期間所得稅、營業收益稅其ノ他ノ課稅ヲ免除致シマシテ、本會社ノ負擔ヲ輕減スルコトト致シテ居ルノデアリマス、第六ニハ上述ノ如ク本會社ニ對シテ特別ノ保護ヲ加ヘ、之ヲ助成致シマスルト共ニ、本會社ノ設立ノ趣旨竝ニ其ノ重大ナル使命ニ鑑ミマシテ、適當ナル指導監督ヲ行フコトガ必要デアルト認メラレマスノデ、一般ノ特殊會社法ニ規定シテアルヤウナ監督ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、尙本會社ノ設立ニ關シマシテハ、政府ニ於テ設立委員ヲ任命シ、本會社設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムルコトト致シタ點モ概ネ他ノ特殊會社ト同様デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス、次ニ只

今議題トナリマシタ輕金屬製造事業法案ニ付テ御説明申上ゲマス、御承知ノ通り、輕金屬即チ「アルミニウム」及「マグネシウム」ハ最近各種ノ輕合金ノ製造竝ニ是ガ應用ノ技術ガ進歩シマシテ、航空機、自動車、船舶等ハ勿論、各種ノ機械裝置等ニ用ヒラル、ニ至リ、其ノ重要性ハ著シク増大シタノデアリマス、特ニ航空機ハ最近機體其ノ他ニ總テ「ジュラルミン」等「アルミニウム」及「マグネシウム」ノ合金ヲ使用スルヤウニナリマシテ、國防上ニ於ケル空軍ノ地位ガ益々重要化スルニ伴ヒ、國防整備上ニ於ケル輕金屬ノ重要性モ増スニ至ツタノデアリマス、且又「アルミニウム」「マグネシウム」ハ銅、鉛、其ノ他ノ金屬ニ代リテ有ラユル方面ニ使用セラル、ヤウニナリ、産業上ニ於ケル輕金屬ノ重要性モ益々加ハリ、近キ將來ニ於テ輕金屬時代トモ云フベキ時代ガ來ルト言フテモ過言デハナイヤウナ趨勢ニアリマス、斯クノ如ク、輕金屬ハ重要ナル物資タルニモ拘ラズ、我が國ニ於ケル是ガ生産ノ現状ヲ見マスト、極メテ貧弱デアリ、歐米各國ニ比シテ甚ダシキ立遅レノ状態ニアルノデアリマス、勿論我が國ノ輕金屬製造事業ハ極メテ最近即チ昭和八九年頃ヨリ創始セラレタノデアリマシテ、漸ク一人前ノ企業トシ

テ發展其ノ過程ニ入ラントスル際デアリマスカラ、已ムヲ得ナイ事情モアルノデアリマスガ、其ノ生産ノ規模ニ於テモ、製品ノ質ニ於テモ、又生産「コスト」ノ點ニ於テモ、歐米ノ輕金屬製造事業ニ比シテ相當遜色アルコトヲ認メザルヲ得マセヌ、斯カル狀況デアリマスカラ、今後餘程ノ努力ヲシテ我國ノ輕金屬製造事業ヲ、質的ニモ量的ニモ文字通り飛躍的ニ發展向上セシメナケレバナラスノデアリマス、輕金屬製造事業ハ各種ノ生産力擴充目標物資ノ中デモ特ニ立遅レテ居ルノデアリ、是ガ擴充ト確立トハ眞ニ刻下ノ急務デアリマス、而シテ是ガ達成ノ爲ニハ輕金屬製造事業ヲ自由企業トシテ放任セズニ、政府ニ於テ必要ナル保護助成ヲ與ヘルト共ニ、適切ナル指導監督ヲ行ヒ、且是ガ需給ノ圓滑、價格ノ適正ヲ圖ル爲ニ必要ナル施設ヲ行ッテ行カネバナラスト考ヘテ本法案ヲ提出シマシタ次第デアリマス、次ニ本法案ノ内容ニ付テ概略ヲ申上グレバ、先ヅ第一ニ一定規模以上ノ輕金屬製造事業ハ之ヲ許可事業トシ、且設備ノ増設、變更ニ付テモ政府ノ許可ヲ受ケシメテ、是ガ濫立ヲ防ギ、其ノ統制アル發達ヲ圖ラントシテ居リマス、次ニ保護助成ノ方策トシテハ、本法ノ施行後五年間ニ一定規

模以上ノ設備ノ新增設ヲ爲シタル會社ニハ、其ノ設備ヲ以テ營ム輕金屬製造事業ニ付キ、設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ五年間所得稅、營業收益稅及地方稅ヲ免除シ、又本法ノ施行後五年間ハ輕金屬製造事業ノ爲必要ナル機械器具ニ付テ輸入稅ヲ免除シ、且輕金屬製造會社ニ對シテハ増資及社債發行ニ關シテ商法上ノ例外ヲ認メテ、其ノ資金調達ヲ容易ナラシメ、又輕金屬製造事業ノ爲必要ナル土地ヲ土地收用法ニ依リ收用、使用シ得ルコトヲ認ムルコトニ致シテアリマス、尙明礬石、礬土頁岩等ノ自給原料ニ依ル「アルミニウム」ノ製造乃至ハ新シキ優秀ナル製造方法ニ依ル「アルミニウム」「マグネシウム」ノ製造等ノ試験研究ニ對シテハ獎勵金ヲ交付シテ、自給原料ニ依ル「アルミニウム」製造其ノ他ノ輕金屬製造技術ノ向上進歩ヲ促進セシムルコトヲ期シテ居リマス、輕金屬製造事業ノ監督ニ付テハ、輕金屬製造會社ヲシテ每營業年度豫メ事業計畫ヲ届出デシメ、又業務及財産ノ狀況ニ關シテ必要ナル報告ヲ徴シ、且業務會計ニ關シテ監督上必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトト致シテ居リマス、更ニ輕金屬ノ國防上竝ニ産業上ノ重要性ニ鑑ミ、輕金屬ノ需給ヲ調整スルノ必要アル場合ニハ、製造、販賣ニ

關シ必要ナル命令ヲ爲シ、且軍事上其ノ他
公益上必要アル場合ニハ、事業設備ノ擴
張、改良又ハ製造方法ノ變更等ヲ命ジ得ル
コトト致シマシタ、次ニ「アルミニウム」又
ハ「マグネシウム」ニ關シテ必要アル場合ソ
レゾレノ製造業者ヲ中心トシテ、内外地ヲ
通ジテ一ノ特殊會社ヲ組織セシメ、之ヲシ
テ政府ノ命ヲ受ケテ「アルミニウム」又
ハ「マグネシウム」ノ共同販賣事業乃至
ハ配給統制事業ヲ行ハシムルコトトシ、其
ノ場合國產及ビ輸入ノ「アルミニウム」又
ハ「マグネシウム」ノ總テハ右ノ特殊會社ニ
一旦集中シ、「プール」計算トシテソレノ
ノ用途ニ販賣セシメルコトト致シマシタ、
右ノ特殊會社ニハ其ノ性質上相當ノ監督ヲ
加フル必要ガアリマスノデ、其ノ利益金ノ
處分、業務規定、事業計畫等ニ付テ政府ノ
認可ヲ受ケシメ、又「アルミニウム」又ハ「マ
グネシウム」ノ買入及ビ販賣ノ價格ニ付テ
モ政府ノ認可ヲ受ケシムルコトト致シマシ
タ、最後ニ本法ノ運用上重要ナル事項ニ付
テハ輕金屬製造事業ニ關シテ學識經驗ヲ有
スル者並ニ關係官廳、高等官ヨリ成ル輕金
屬製造事業委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要スル
モノトシ、本法案ノ運用ニ付キ慎重ヲ期ス
ルコトト致シマシタ、尙本法ノ嚴正ナル實

施ヲ保證セムガ爲必要ナル罰則ヲ附シマシ
タ、本法案提出ノ理由並ニ其ノ大體ノ骨子
ハ以上ノ通りデアリマス、何卒十分御審議
ノ上可決セラレムコトヲ希望致シマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 茲ニ政府ヨリ
參考資料ヲ提出シテゴザイマスガ、尙是以
外ニ資料等ノ御要求ガゴザイマスナラバ此
ノ際承ッテ置キタイト思ヒマス

○子爵保科正昭君 我ハ只今頂戴致シマシ
タ「アルミニウム」及「マグネシウム」關係資
料ト申シマス資料ノ中ニゴザイマス「アル
ミニウム」及「マグネシウム」各製造會社ノ
製造方法、使用原料並ニ生産實績調ト云
フノガ附イテゴザイマスガ、此ノ表ニ舉ゲ
マシタノヨリモ、或ハ詳シイ六會社ノ内容
ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、其ノ表ヲ頂戴
出來マスカ

○政府委員(今井健彦君) 出來ルダケ差出
スコトニ致シマス

○子爵保科正昭君 モウ一ツ參考文書ヲ頂
戴致シタイノデアリマス、ソレハ帝國鑛業
開發株式會社法案ノ審議ニ當リマシテ、只
今御説明ニナリマシタ本社ノ事業ノ鑛床調
査ト云フ項目ガアリマスガ、鑛床調査ヲ民
間ノ依頼ニ應ジテ從事シテ居リマス者ノ調
査ノ表ガゴザイマスレバ頂戴致シタイ

○政府委員(小金義照君) 出來ルダケ調べ
マス

○子爵保科正昭君 頂戴出來ナイトナラバ
ソレデ結構デゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御要求ゴ
ザイマセヌカ

○男爵伊藤一郎君 今ノ「アルミニウム」及
「マグネシウム」關係ノ資料ノ中ノ一トニ
トゴザイマスガ、需給狀況ト生産實績調ノ
此ノ表ガ十一年迄ニナッテ居リマスケレド
モ、モウ少シ最近迄ノヲ戴ケマセヌデセウ
カ、他ノ表ハ十三年十四年トアリマスガ、
若シ出來マシタラバ、斯ウ云フ新興事業ノ
コトデゴザイマスカラ、餘リニ過去ノ表ハ
大シテ參考ニナラナイヤウニ思ヒマスカラ、
極ク最近ノ分ヲ出來ルダケ頂戴致シタイト
思ヒマス

○政府委員(今井健彦君) 適當ナ機會ニ懇
談會カ何カ開イテ戴キマシテ、其ノ機會ニ
十分御説明申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ本日
ハ商工大臣ガ衆議院ノ方ニ御出席デ此方ヘ
チョット御手ガ隙カナイ趣デアリマスカラ、
先ヅ帝國鑛業開發株式會社法案ニ付キマシ
テ御質疑ガゴザイマスナラバ御願ヒ致シマ
ス

○長岡隆一郎君 先程チョット申上ゲマシ
タガ、私ハ輕金屬ノ法案ニ付テ商工大臣及
陸軍省ノ政府委員ニ簡單ニ御質問シタイ
コトガアルノデス、御多忙ノヤウデアリマ
スカラ御都合ノ付ク時ニ、適當ナ機會ニ御
出席下サイマシテ、質問ヲ御許シテ願ヒタ
イ、所要時ハ約二十分位ドラウト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 諒承致シマシ
タ、政府ニ傳ヘテ其ノヤウニ取計ラフヤウ
ニ致シマス

○男爵松田正之君 我ハ少シ鑛業開發會社
ノ法文ニ付イテ伺ヒタイノデスガ、此ノ會
社ハ主ニドウ云フコトヲスルノデアリマス
カ、第一番ノ目的ヲ一口ニ仰シヤッテ戴キタ
イ

○政府委員(小金義照君) 此ノ會社設立ノ
趣旨ハ之ヲ要約致シマス、我ガ國ニハ非
鐵金屬即チ銅其ノ他ノ鐵ニ非ザル金屬ガ富
鑛ノ狀態デ埋藏サレテ居ルトハ申シ難イノ
デアリマス、銅初メ相當澤山各方面ニ埋藏
サレテ居ルノデアリマス處ガ經濟上ノ關係
或ハ技術上ノ關係カラ十分其ノ鑛山ガ稼行
セラレテ居ラナイノデアリマス、處ガ他方
銅ヲ初メ、特ニ銅デアリマスガ、其ノ製鍊能
力ハ相當澤山ゴザイマス、今ノ所デハ相當多
量ノ銅ノ鑛石其ノ他ノ鑛石ヲ輸入致シマシ

テ、之ヲ國內ノ製鍊所デ製鍊致シテ居ルノデアリマスガ、色々ナ關係カラ國內ノ銅鑛石其ノ他ノ鑛石ヲ開發スル必要ヲ認メテ居ル次第デアリマス、處ガ鑛石ノ品位其ノ他ノ關係カラ今ノ儘デハ假令重要鑛物増産法等ノ適用ヲ見マシテモ十分ニ開發ガ出來マセヌノデ、茲ニ主トシテ是等ノ重要鑛物ヲ掘探スルコトヲ目的トスル、何等カノ施設ヲスル必要ヲ認メマシテ、ソコデ半官半民ノ此ノ帝國鑛業開發株式會社ナンカヲ設置スルコトニ結論ガ決ツタデアリマス、此ノ目的ハ鑛山業ヲ營ムコトガ主デアリマス、其ノ他之ニ關聯シテ色々ナ事業ヲスルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス

○男爵松田正之君 此ノ會社ハ自分でテ鑛山ヲ開發經營セラレルト云フコトニナリマス、現在ハ御承知ノヤウニ機械ヤ何カガ非常ニ手ニ入レルコトガ出來マセヌシ、勞働力モ非常ニ不足シテ居ル時デアリマスシ、早速取掛ツテモ利益ハナカ／＼擧ラナイダラウト思ヒマス、其ノ御見込ハドウデスカ

○政府委員(小金義照君) 色々ノ方法デ機械其ノ他ノ資材、及技術者其ノ他ノ摩擦ノナイヤウニ順ヲ追ウテ進メル豫定ガ出來テ居ルノデゴザイマス、唯斯ウ云フ時勢デモ

アリマスルシ、又利益ヲ擧ゲル趣旨デモアリマセヌノデ、其ノ點ハ御説ノ通り儲カラナイ會社ト思ヒマス、ソコデ配當額ガ四分ニ達スル迄政府ガ補償シ、ソレカラ政府ノ持株ハ民間配當株ガ六分ニナル迄、之ヲ遠慮スル、更ニ此ノ法律案ノ第二十四條ノヤウナ規定ヲ設ケマシテ、此ノ會社ノ事業ニ依ツテ生ジタ損失ヲ政府ガ豫算ノ範圍内ニ於テ補償スルト云フヤウナ色々ナ補強策ヲ同時ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵松田正之君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、サウスルト利益ガ擧ラナイ會社ヲ國策上御拵ヘニナルト云フ、一應ソレデ了解致シマシタ、ソレデ此ノ營業ノ中ニ資金ノ融通ノコトガ書イテゴザイマスガ、資金ハドウ云フ風ニシテ求メラレル積リデアリマスカ

○政府委員(小金義照君) 此ノ會社ノ事業ノ一項目トシテ資金ノ融通又ハ投資ガゴザイマス、其ノ資金ノ融通又ハ投資ニ使フ金ハ、拂込金及ビ社債、帝國鑛業開發會社ノ發行スル鑛業開發債券及ビ借入金ヲ以テ之ニ充當スル豫定デゴザイマス

○男爵松田正之君 サウシマスト拂込ハ餘リ儲カラナイ會社デゴザイマスカラ、株主ガ喜ンデ直グ賛成モ出來ナイト思ヒマスノ

デ、ドウシテモ借入金トカ債券ヲ發行スルコトニナルダラウト斯ウ私ハ思フ、サウシマスト、此ノ借入金ト云フモノハ預金部カラ借入ニナリマスカ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(小金義照君) 只今ハハッキリ其處迄ハ突詰メテ打合セガ完結シテ居ルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、成ルベク金利ノ安イ方面カラ借入金ヲ致シタイト存ジマス

○男爵松田正之君 ソレデ金利ノ安イト云フコトガ、ドウシテモ借入金トシテハ必要ダラウト思フノデアリマス、サウ致シマスト茲ニ問題ガ起ツテ來ルノハ、產金會社トノ關係ニナツテ來ルノダラウト思フ、銅ハ、能ク鑛物ノコトハ存ジマセヌガ、法律上カラ考ヘテ金ヤ何カ掘ル時ハ、銅ト云フモノモアルシ、又產金會社ノ方ノ定款デスカ、矢張り銅ノ事業モ產金會社ニ附イテ居ルヤウニ思フノデアリマスカ、サウシマスト例ヘバ一ツノ例ヲ擧ゲマスト、銅ヲ掘ル會社ニ金ヲ貸ス場合ニ、產金會社ノ方ト、此ノ鑛發會社トノ關係ガ出來テ、安イ方ニナリマス、產金會社ノ方ニハ借レナクナル、高クナレバ產金會社ノ方ニ借りニ行クト云フヤウナ色々ニナツテ居ッテモ宜イノデスカ

○政府委員(小金義照君) ソレハ日本產金

振興株式會社ト、帝國鑛發株式會社ノ業務ノ分野ノ問題ニナルノデアリマシテ、其ノ點ハ色々ノ方面カラ考究致シマシテ、而シテ會社ノ設立ノ大體ノ趣旨竝ニ其ノ事業ノ傾向ガ、一ハ主トシテ資金ノ融通又ハ投資ニ重キヲ置クモノデアル、他ハソレハ其ノ方面ハ寧ロ二ノ次、三ノ次デアリマシテ、主トシテ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業ヲ營ミマシテ、サウシテ鑛物ヲ餘計出シテ之ヲ製鍊所ニ送り付ケテ、少シデモ多ク、一日デモ早ク重要ナ鑛物ヲ製鍊スル、斯ウ云フ風ナ建前ニナツテ居リマス、ソコデ鑛石ノ狀態カラ申シマシテモ、金、銀、銅ト云フヤウナモノハ、同一鑛床ニアル場合ガ相當ニ多イノデアリマス、ソコデ今ノ資金ノ關係ノ方カラ申シマスト、金、銀、銅ト云フヤウナモノノ製鍊ヲサレル方面カラ資金ノ融通ガアリマシテ、其ノ事業ガ大體金鑛石ヲ取扱ツテ居ルト云フ風ナ限界ガ付ク限り、日本產金振興會社ノ方ニ其ノ分野ヲ一應豫定シテ居リマス、ソレカラ又銅ノ製鍊ノ傍、金ガ製鍊セラレテ來ル場合ニ於キマシテ、其ノ事業ノ實情ト、ソレカラ資金ガ要ルト云フ方面ニ重キヲ置カレタ要求デアル場合ニ於テハ、是亦日本產金振興株式會社ガ資金ヲ融通シテモ差支ナイト云フ風ニ、主トシ

テ考ヘテ居ル事業ノ範圍ガ自ラ分レマスノ
デ、其ノ間相重複スルヤウナ部分ハアッテモ
宜シイ、寧ロ二重ノ投資ナラバ避ケナケレ
バイカヌノデアリマスガ、兩方カラ行ッテ資
金の援助ガ出來ルト云フモノニ付テハ、兩
方カラ行ッテモ宜イ、併シ其ノ間兩會社ガ衝
突スルトカ、不必要ナ争ニナルト云フヤウ
ナコトハ嚴ニ避ケナケレバナラスノデアリ
マス、ソコデ兩會社ノ事業ヲ常時監督スル
監理官其ノ他ニ付テ十分ナ考慮ヲ加ヘ、兩
會社ノ運用ニ誤リナキヲ期シタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○男爵松田正之君

サウシマスルト何デス
カ、金ヲ借ル時ニハ一應政府ノ認可デモ受
ケルコトニナリマスガ、ソレトモ開發的ノ
斯ウ云フ程度ナラバ產金會社ノ方デ拂フ、
斯ウ云フ風ノナラ振興會社ト云フ風ニ、前
以テ何カノ形デ御示シニナッテ御置キニナ
ルノデアリマスガ

○政府委員(小金義照君)

大體金、銀、銅
鑛ト云フヤウナモノヲ處理スル場合ニ於テ、
融資ガ主ナル場合ニ於キマシテハ、產金會
社ガヤッテ差支アリマセヌ、要スルニハッキ
リ前以テ區別ヲシテ置クコトガ困難ナ場合
ガアラウト豫想セラレマスノデ、大體ハ兩
會社ノ其ノ場合ノ判斷ニ委シテ宜シイト存

ジマスガ、雙方疑問ガアルヤウナコトガ出
テ來タヤウナ時ニハ、ソレヲ監督官廳ガ裁
クト云フヤウナ方針デ進ム豫定デゴザイマ
ス

○男爵松田正之君

兩方トモ國策會社デス
カラ、其ノ點十分御研究ニナッテ置クコトガ
必要ダラウト思ヒマス、ソレカラ今度ハ別
ノ問題デ、先程御話ノヤウニ、現在ハ外國
カラ銅鑛ヲ澤山輸入シテ、ソレヲ製鍊シテ、
ソレデ以テ利益ガ舉ッテ居ルノデ、貧鑛ヲ掘
出スコトガ出來ルノダラウト思ヒマス、處
ガ此ノ會社ノ營業ノ品目ヲ見マスト、外國
カラ輸入スルト云フコトガ……銅ヲ輸入ス
ルト云フコトガ出テ居リマセヌカラ非常ニ
ムツカシイ、此ノ會社ノ成リ行ガムツカシ
イダラウト思フノデスガ、一體此ノ銅ノ輸
入ヲ統制スルト云フヤウナ御考ハ御アリニ
ナラナイノデアリマスガ

○政府委員(小金義照君)

銅ノ輸入、銅鑛
石ノ輸入統制ハシタ方ガ宜イト考ヘテ居リ
マス、併シナガラハ從來色々ナ問題ガア
リマシテ、單純ナ理論ノミニ依ッテ、銅鑛石
ノ輸入ヲ統制スルノハ現在ノ所適當デナイ
ト考ヘテ居リマス、ソコデ現在大體ニ於テ、
銅ノ國際相場ヲ基準トシタ價格デ、銅鑛石
ガ輸入セラレテ居ルト見テ、大體差支ナイ

ノデアリマスガ、國內ノ銅ノ建値ハ大體ニ於
テ「トシ」千百圓ヲ基準ト致シテ居リマシ
テ、餘リ高値ヲ生ジナイヤウニ致シテ居リ
マス、ソコデ何ガシカノ輸入鑛石カラ製鍊
シタ銅ト、國內ノ建値ト間ニ差益ガ出マス、
其ノ差益ハ今ノ所必ズシモ統制カラ生ズル
利益トシテ、公平ニ分配サレテ居ルモノト
ハ言ヒ得ナイダラウト考ヘラレルノデアリ
マス、然ラバ其ノ差益金ハ舉ゲテ國內ノ建
値千百圓以上ニ生産費ガ上ル鑛石ノ増掘ニ
使ハレテ居ルカト申シマス、是亦必ズシ
モサウデナイノデアリマス、ソコロノ複雑
シタ關係ヲ考慮致シマシテ、統制カラ生ズ
ル利益ハ、ドウ云フ風ニシテドノ方面ニ歸
屬セシメタ方ガ一番合理的デアルカハ一概
ニ申上ガ得ナイト考ヘテ居リマス、其ノ間
ノ事情ヲ色々考慮致シマシテ、輸入鑛石カ
ラ製鍊スル銅ト、國內ノ銅ノ建値ト間ノ
差益ニ付テ、慎重ナル取扱ヲ致シタイト考
ヘテ居リマス、デ此ノ會社ハ勿論自ラ銅ノ
鑛石ヲ輸入スルコトガ出來マス、而シテ輸
入銅鑛石ヲ國內ノ製鍊業者ニ分配スルコト
モ出來ルノデアリマスガ、ソレ等ノ關係ハ
銅製鍊業者ト此ノ會社ト政府ト間ニ於キ
マシテ、十分ナル御協議ヲ遂ゲテ、出來ル
ナラバ海外ニ乗ゼラレルトカ、其ノ他不當

ニ海外ニ利益ヲ流シ出スト云フヤウナコト
ヲ避ケル意味ニ於テ、此ノ會社モ關與致サ
シメタイト云フ今考ヲ持ッテ居ル次第デア
リマス

○男爵松田正之君

斯ウ云フ立派ナ國策會
社ガ出來マスレバ、此ノ會社ニ總テ輸入サ
セテ、ソレカラ分ケテヤッタ方ガ宜イヤウニ
感ズルノデゴザイマスケレドモ、現在色々既
設會社トノ關係モアッテ、ソレモ出來ナイノ
ダラウト斯ウ推察スルノデスケレドモ、將
來サウ云フ風ニ持ッテ行クヤウナ御意嚮ハ
當局トシテ御アリニナリマセヌデスカ

○政府委員(小金義照君)

御尤ナ御説デア
リマシテ、私共モ大體其ノ方向ニ考ヘテ居
リマス、輸入鑛石ノ一ツノ統制ト申シマス
カ、今前段申述ベマシタヤウナ意味デ考ヘ
テ居ルコトガアリマスガ、唯急激ニソレヲ
ヤリマス、多少ソコニ不必要ナ摩擦ガ起
リハシナイカ、或ハ又銅ノ製鍊所ノ各個別
的ナ條件、即チ生産費モ多少違ッテ居リマス
ノデ、ドウ云フ形デ製鍊ヲセシメルカ、即
チ此ノ國策會社ガ國策會社タル公平ナ立場
カラ鑛石ヲ輸入シテ、之ヲ製鍊業者ニ依託
製鍊セシメル、依託製鍊デアルナラバ純然
タル製鍊費「プラス」相當ノ利潤ト云フモノ
ヲ付ケテ、此ノ會社ニ渡スナラバ、此ノ會社

ハ極メテ安全ナ製鍊所ノ操業ヲ營ンデ行キ得ル譯デアリマスカラ、サウ云フヤウナ考ヘ方モ致シテ居リマス、要スルニ御説ノ通り斯ウ云フ國策會社デアリマスカラ、サウ云フ「ペーヤ」ナ立場ニ立ッテ御説ノヤウナ意味ノ銅鑛石ニ關スル仕事モヤラセタイト考ヘテ居リマス、又一部ハ實行スルコトト存ジマス、唯要ハ此ノ會社ノ活動ニ依ッテ國內ノ銅鑛石ノ増産ヲ見ルト云フ風ニ持ッテ行キタイ、其ノ持ッテ行クガ爲ニ合理的ナ手段ナラバ出來ルダケ取入レテ考ヘル、斯ウ云フヤウナ方針デゴサイマス

○男爵松田正之君 大體私ノ考ヘテ居ルコトニ御賛成ニナツクノ宜イト思ヒマスガ、兎ニ角外國カラ參リマス銅ヲ此ノ會社ニ依ッテ統制サレル、サウシテ各製鍊所ニ於テ其ノ利益ヲ得テ參リマスレバ、此ノ會社ガ非常ニ安全ナルモノデ、是ガナイト、ドウシテモ内地ノ貧鑛ニ對シテ手ヲ出シテモ少シモ利益ガ擧ラナイト云フコトニナルノデ、此ノ會社ヲ折角御造リニナッテモ何ノ役ニ立タナイコトニナリハシナイカト云フ懸念ヲ私ハ持ッテ居ルノデス、サウ云フ質問ヲシタノデス、ソレカラ今度方面ヲ變ヘマシテ、此ノ法案ニ朝鮮臺灣ハ包含シテナイヤウニ見ラレマスガ、産金會社ノ時ハ之ヲ包

含シテアリマスガ、何故サウ云フ風ニ御分ケニナルノデゴザイマセウ、同ジヤウナ性質ダト思フノデス

○政府委員(小金義照君) 御説ノ通りデアルト私共モ考ヘマス、朝鮮臺灣ヲ特ニ除カナケレバナラスト云フ積極的理由ハ私共モ毫モナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス、併シナガラ色々ナ事業計畫ノ都合、即チ主トシテ資金其ノ他ノ關係カラ或ハ又鑛山ノ色々ナ事情及之ヲ監督指導スル立場等ノ關係カラ、一應此ノ帝國鑛業開發株式會社法案ヲ決定シテ戴ク際ニ當リマシテハ、事業計畫ノ内容トシテ一應外地ハ之ヲ考ノ外ニ置クト云フコトニ致シマシテ、サウシテ朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府ガ、鑛物ノ増産ヲ圖ル爲ニ何等カノ施設ヲ考ヘル、臺灣ニ於テモ同様デアルト云フヤウナコトニ話ガ決マリマシテ、一應ノ計畫トシテハ内地ダケト云フコトニ致シテ居リマス、併シナガラ此ノ帝國鑛業開發株式會社法案ガ法律トシテ效力ヲ生ズルヤウニナリマス、此ノ法律ニ基イテ造ラレタ帝國鑛業開發株式會社ハ共通法ノ關係デ朝鮮臺灣其ノ他ノ外地ニ於テモ會社トシテ法人格ヲ持ッテ活動スルコトガ出來ルノデアリマス、其ノ範圍ニ於テ外地當局トノ協議ノ上デ或程度ノ仕事モ出來

マセウシ、又其ノ他ノ別ノ土地ニ對シテモ仕事ガ出來ルト云フ風ナコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラサウ云フ際ニハ勿論事業計畫ノ變更ヲ政府ガ認可シテヤラスノデアリマスカラ、必要ニ應ジマシテ或程度迄ノ活動ハ内地以外ニ於テモ出來ルモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ計畫トシテハ一應外地ヲ切離シテ見タト云フ程度ノコトダト考ヘテ居リマス

○男爵松田正之君 モウ一點、衆議院デ修正サレタ此ノ第九條ノ「鑛業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ云々」ト云フノガアリマスカ、政府ハ此ノ修正ニ御同意ニナツクノデアリマス

○政府委員(今井健彦君) 衆議院ノ修正ニ對シマシテハ、政府ハ原案ヲ以テ至當ナリト考ヘテ居リマス、併シ兩院ニ於キマシテ、若シ此ノ修正ヲ御認メニナリマスレバ、政府ト致シマシテハ其ノ場合ニ考慮致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵松田正之君 餘リ長クナマリスカラ、私ノ質問ハ一應之デ打切りマス
○委員長(伯爵橋本實斐君) 如何デアリマセウ、尙此ノ法案及參考資料ヲ御研究戴キマシテ、他日御質疑ヲ繼續シテ戴イタ方ガ御都合ガ宜シイカト存ジマス……本日ハ此

ノ程度ヲ以テ終リト致シ、次回ハ月曜二十日ノ午前十時開會ヲ致シマス、本日は是ヲ以テ散會致シマス
午前十一時三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 眞野 文二君
委員 公爵桂 廣太郎君
子爵大河内正敏君
子爵保科 正昭君
男爵伊藤 一郎君
男爵松田 正之君
男爵肝付 兼英君
加藤敬三郎君
長岡隆一郎君
根津嘉一郎君
松本勝太郎君
小野 耕一君
氏家 清吉君

政府委員

海軍主計少將 山本丑之助君
商工政務次官 今井 健彦君
商工省鑛山局長 小金 義照君